

【高等学校用】

令和5年度学校評価結果・学校関係者評価

学校名 佐賀県立多久高等学校

達成度(評価)
A:十分に達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 今年度評価結果の概要
・就職指導は十分確立され定着した就職先の確保ができています。進学指導を道徳、系列毎に目標を再確認して指導することが可能である。
・生徒・職員が一体となった校風の見直しを継続していく必要がある。
・いじめの早期発見のため、関係機関との連携をさらに推し進め、全校生徒が過ごしやすい学校づくりを目指す。

2 学校教育目標
○「自分の夢を形に」・・・校風「仁愛・自主・創造」のもとに、教職員と生徒が敬愛と信頼のなかで、文教の薫る校風の創造をめざすとともに 自らの夢を描き、目標に向かって挑戦する意欲を持ち、その実現へ前進する「知・徳・体」の調和のとれた、心身ともに健全な生徒を育成する。
○めざす生徒像・・・自らの夢を描き、目標に向かって意欲的に挑戦し続ける生徒
○学校が育成する具体的な生徒像
・文武両道・・・習字や文化、自然観察を科学的に観る知識、敬愛を持ち、コミュニケーション能力を身につけた生徒
・健康福祉系・・・健康な身体をもち、健康な生活を送ることをめざし、その知識・技能とともにノーマライゼーションの精神を身につけた生徒
・産業技術系・・・産業技術の分野で知識力となる知識・技能を身に付けた生徒
・商業ビジネス系・・・商業ビジネスの分野で知識力となる知識・技能を身に付けた生徒
・工業技術系・・・ものづくりを通して自らの技術を開き、工業やデザイン分野での次世代を担う人材となる知識・技能を身につけた生徒

3 本年度の重点目標
①わかる・力が身について授業の実績
②キャリア教育の充実
③進路意識の向上
④生徒会活動・部活動の活性化
⑤学びのための環境づくり
⑥地域との連携
⑦働き方改革の推進
情報モラル教育の推進、自尊心・ボランティア精神の醸成
地域に根差した信頼される学校づくり
業務の精選と効率化、職員の健康意識の高揚

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

Table with 5 main columns: 重点取組 (Key Initiatives), 中間評価 (Intermediate Evaluation), 最終評価 (Final Evaluation), 学校関係者評価 (Stakeholder Evaluation), and 主な担当者 (Main Person in Charge). It contains detailed descriptions of various educational activities and their outcomes across different categories like academic achievement, character education, and safety.

(2) 本年度重点的に取り組む職員評価項目

Table with 5 main columns: 評価項目 (Evaluation Items), 重点取組 (Key Initiatives), 中間評価 (Intermediate Evaluation), 最終評価 (Final Evaluation), and 学校関係者評価 (Stakeholder Evaluation). It focuses on specific staff performance metrics such as communication, student activity support, and ICT education.

5 総合評価、次年度への課題
・学習指導や資格取得に向けた取り組みを一層進め、自分の夢を形にできる多久高校のイメージを強化する。
・道徳的なアプローチをして、いじめの未然防止に努める。また、いじめの早期発見のため、関係機関との連携を密にする。
・生徒が主体的に活動し、充実感・達成感を味わわせ、プライドと品格を持った学校を目指す。